

令和7年度　イーハトーヴ協創コース関連科目（教養教育科目）

科目 区分			科目名 （新カリキュラム）	読替科目名 （旧カリキュラム）	講義等の内容	単位数	1		2		配当 年次	通常・集中 の別	イーハトーヴ協創コース 上の位置づけ	地域協創マイルージ 中分類	マイルージ数
							前	後	前	後					
探究知科目	地域関連科目	地域科目	地域協創入門	地域協創入門	持続可能な社会の実現を目指し、アンロックをキーワードに学生自らが学びをデザインすることができる基礎力を養成する。また、VUCA時代の特徴を理解し、かつ、多面的なスキルと柔軟性の重要性を認識し、問題解決と振り返りのスキルを向上させ、学びを深化させる能力を養成する。	2	←	○→			1前又は後	通常	必修	マインドセット	100
探究知科目	地域関連科目	地域科目	社会連携学A	地場産業・企業論	企業経営に必須となる要素を知識として学ぶと同時に、経営実務において必須となるスキルや企業経営や組織運営の難しさとポイントを体系的に学ぶ。講義では、企業経営に携わる方から企業経営の必須要素、企業経営に必要な戦略について学び、学生自らがキャリアプランを考えることができる力を養成する。	2	←	○	→		1～2 前又は後	通常又は 集中	選択必修	キャリア	100
探究知科目	地域関連科目	地域科目	社会連携学B	地場産業・企業論	公共政策の社会的な意義と役割に必須となる要素を知識として学び、また、近年高まっているコレクティブ・インパクト等の地域活性化の手法について、実践事例を通じて手法の仕組みを学ぶ。講義では、社会に参画している意識を実感できる場として、実際の公共政策に携わる方々とのディスカッションを行う。	2	←	○	→		1～2 前又は後	通常又は 集中	選択必修	キャリア	100
探究知科目	地域関連科目	地域科目	地域協創A	なし	” 平和 ” をテーマに人類の歴史を俯瞰しながら、戦争と平和の要因と結果、影響範囲を検証し、学生自身にできることの延長線上に平和を感じられるようにするために何が必要かを学ぶ。講義では、実践活動をしている国連機関や報道機関等の方々とのディスカッションを通じて平和に貢献すると思われる学生自身の身近なアクションプランを策定する。	1	←	○ (後期)	→		1～2後	集中	選択必修	マインドセット	50
探究知科目	地域関連科目	地域科目	地域協創B	地域を考える	先端企業の実践的な活動を通じて、AI、DX、ビッグデータ、グリーンテクノロジーに関する基本的な知識を学び、また、テクノロジー関連企業の歴史的な進化とテクノロジーがビジネスと社会に与える影響を具体的に理解する。	1	←	○ (後期)	→		1～2後	通常	選択必修	ツール	50
探究知科目	地域関連科目	地域科目	地域協創C		“Wellbeing/Diversity” の歴史的な変遷と組織や各国での浸透度を具体的な事例を活用しながら検証し、“Wellbeing/Diversity” が重要視されるようになった背景や学生自身が “Wellbeing/Diversity” の考え方を実践するための具体的なマインドセットと行動指針を学ぶ。また、組織の中で “Wellbeing/Diversity” を推進するために必要なマネジメント能力の養成を図る。	1	←	○ (後期)	→		1～2後	通常	選択必修	マインドセット	50
探究知科目	地域関連科目	地域科目	地域協創D	なし	組織の人材育成課題に焦点を当て、実際の組織に対する調査と分析を通じて、適切な人材育成プランを作成する方法を学ぶ。また、教材の設計と提供を通じて、自己学習の計画を立て、他人に教えるスキルを向上させ、実践的なスキルの修得を図る。	1	←	○ (前期)	→		1～2前	集中	選択必修	ツール	50
探究知科目	地域関連科目	地域科目	地域協創E	岩手の研究	アントレプレナー人材の養成を目的に、ビジネス系を中心とした民間/公共で活躍している人材を講師として招き、実際の現場で必要とするスキル、考え方、起きている出来事にフォーカスした実践的な学びを通じて、地域の課題やその解決手法について学ぶ	1				○	2前	通常	選択必修	キャリア	50
探究知科目	地域関連科目	地域科目	地域協創F		ソーシャルイノベーション人材の養成を目的に、ソーシャル系を中心とした民間/公共で活躍している人材を講師として招き、実際の現場で必要とするスキル、考え方、起きている出来事にフォーカスした実践的な学びを通じて、地域の課題やその解決手法について学ぶ	1				○	2前	通常	選択必修	キャリア	50
探究知科目	地域関連科目	地域科目	地域協創G	地域を考える	先端企業の実践的な活動を通じて、AI、DX、ビッグデータ、グリーンテクノロジーに関する基本的な知識を学び、また、テクノロジー関連企業の歴史的な進化とテクノロジーがビジネスと社会に与える影響を具体的に理解する。	1		○			1後	通常	選択必修	ツール	50
探究知科目	地域関連科目	地域科目	地域協創H		実社会でのフィールドワークを通じて、学生自らが課題を発見し、課題を自分目線で見つめなおし、グループワークにより課題を認識・整理し、理解する。また、今までに修得した考員を使用して発見した課題に対する対応策への検討を行い、学生自らが対応策に応じたプロジェクトを創生することができる力の醸成を図る。	1		○			1後	集中	選択必修	ツール	50
探究知科目	地域関連科目	地域科目	地域協創 I	なし	学生自らが今までに修得した考員を使用して発見した課題に対し、対応するプロジェクトを創生し成功させるために必要となる準備段階から運営、クロージングまでの流れを具体的な事例を活用しながら学び、プロジェクト・チームを企画し運営することができる力の醸成を図る。	1	←	○ (前期)	→		1～2前	集中	選択必修	ツール	50
探究知科目	地域関連科目	地域科目	キャリアを考えるA	キャリアを考える （社会科目）	予測不能な時代において、自分はどう在りたいのか？大学で何をどのように学ぶか？自分はどう働くか？自分はどう生きたいのか？自分に問を立て、自分の将来をプランニングするための基礎的な知識を身に付ける講義である。学生同士や学外の社会人との関わりから多様な考え方を獲得し、「自己に気づく力」「社会・地域と関わる力」、キャリア自律が求められる社会を「生き抜く力」を身に付けることを目指す。グループワークなど能動的な学びを通して、自分らしいキャリアを描くための進路選択行動につなげる態度を醸成する。	2	←	○→			1後又は2前	通常	選択必修	キャリア	100
探究知科目	地域関連科目	地域科目	キャリアを考えるB	キャリアを考える （社会科目）	学生が自らのキャリアを具体的にイメージできるように、岩手大学の卒業生や地元で活躍する社会人のキャリア実践例を通じて学ぶ機会とする。それぞれの社会人のキャリア・ストーリーから、判断のポイントや考え方、社会で働く意味などを、ディスカッション形式も取り入れて体感的に学びを深める機会とする。	2		○			1後	通常	選択必修	キャリア	100
探究知科目	地域関連科目	地域科目	現代社会をみる視角	現代社会をみる視角	現代社会はさまざまな問題を抱え、日々それに対する対応が迫られている。旧来型の社会制度に見直しが求められるとともに、日本社会の持続可能性に関わる問題が露呈してきた。ことに、東日本大震災に見舞われた私たちは、震災後の復旧・復興を見据えた、多くの、かつ新たな諸問題に直面している。 この講義では、現代社会ならびに地域社会が抱える今日的な諸問題を、法学、経済学、社会学、科学論といった分野から多角的に考察し、もって、一筋の光明を見いだすことを目的とする。	2			←	○→	2前又は後	通常	選択	マインドセット	100

令和7年度　イーハトーヴ協創コース関連科目（教養教育科目）

科目 区分			科目名 （新カリキュラム）	読替科目名 （旧カリキュラム）	講義等の内容	単位数	1		2		配当 年次	通常・集中 の別	イーハトーヴ協創コース 上の位置づけ	地域協創マイルージ 中分類	マイルージ数
							前	後	前	後					
探究知科目	地域関連科目	地域科目	宮沢賢治の世界	宮沢賢治の世界	本学の先輩であり、宗教、科学、文学、環境問題など様々な分野に強い関心を持ち、稀有の詩、童話を残した宮沢賢治の作品に幅広く触れる。専門分野の異なる複数の教員により、これまでの賢治研究の成果を学び、賢治を見る複数の視点を得て、賢治が持っていた問題意識に迫る。安易に文系とも理系とも区分けも限定も出来ない多層的な詩人・宮沢賢治を多角的・総合的に捉える基礎を作る。	2	←　○　→ （後期）				1～2後	通常	選択	マインドセット	100
探究知科目	地域関連科目	地域科目	危機管理と復興	危機管理と復興	いわて高等教育コンソーシアムの「地域復興を担う中核的人材育成プラン」における中核的人材育成事業として開発する「地域リーダー育成プログラム」のコア科目の一つで、危機管理や防災、都市計画、コミュニティの再生などについて学び、それぞれのテーマに関連した実習等を行いながら、想定される災害等に対する的確に振る舞うことができるとともに、被災地域の復興にかかわる様々な状況に的確に対応し得る能力と知見を修得する。	2	←　○　→ （後期）				1～2後	集中	選択	アクション	100
探究知科目	地域関連科目	地域科目	地場産業・企業論	地場産業・企業論	地元企業の訪問調査を通じて能動的な学びと社会人としての基礎力を実践的に学び、地元企業の魅力を適切に理解し、地元企業の魅力探究や地元定着のための課題を整理する。雇用の課題は採用側（求人）、就職側（求職）、地域や行政側と多岐にわたっている。それらの課題を実践的かつ客観的に学び分析し、自らの課題として捉えることができる能力を身につける。	2	←　○　→ （前期）				1～2前	集中	選択	キャリア	100
探究知科目	地域関連科目	地域科目	ボランティアとリーダーシップ	ボランティアとリーダーシップ （社会科目）	いわて高等教育コンソーシアムの「地域復興を担う中核的人材育成プラン」における中核的人材育成事業として開発する「地域リーダー育成プログラム」のコア科目の一つで、ボランティア活動に関する知識や技能、リーダーの役割、組織の動かし方などについて学び、ボランティアが必要とされる事態やグループで活動するような様々な状況に対応し得る能力と知見を修得する。また、修得した能力・知見を活かしてボランティア活動を実践する。	2	←　○　→ （前期）				1～2前	集中	選択	アクション	100
探究知科目	地域関連科目	地域科目	日本事情A	日本事情A （社会科目）	日本人学生と留学生の共修科目である。日本や岩手の歴史や文化、社会について学び、日本人のものの考え方や行動の根底にある民族性を理解することを目的とする。様々な調査や発表活動を通じ、日本の独自性、他国との相違などについて考える力を養成する。	2	○				1前	通常	選択	アクション	100
探究知科目	地域関連科目	地域科目	日本事情B	日本事情B （社会科目）	日本人学生と留学生の共修科目である。主体的に情報収集を行いながら日本の社会、文化等について知識を高めると同時に、討論等を行い、日本について理解を深める。	2		○			1後	通常	選択	アクション	100
探究知科目	地域関連科目	地域科目	多文化コミュニケーションA	多文化コミュニケーションA （社会科目）	日本人学生と留学生が共修し、多文化状況において必要な基礎的な知識、技能を高める。授業中は、毎回、多文化状況でのコミュニケーション課題についてテーマを設定し、日本人学生と留学生が討議し、課題解決の方策を探る。また、学外の人々との接触、協働体験を通じ、多文化社会において想定される課題について解決する態度、技能を高める。	2	○				1前	通常	選択	アクション	100
探究知科目	地域関連科目	地域科目	多文化コミュニケーションB	多文化コミュニケーションB （社会科目）	日本人学生と外国人留学生が共修し、多文化状況において必要なコミュニケーション力の基礎力を高める。クラスの中、また他大学の学生と多文化社会において想定される課題について協働して解決する体験を通じ、多文化状況とは何か、コミュニケーションとは何かについて知識と技能を習得し、グローバル社会での基礎力を高める。	2				○	2後	通常	選択	アクション	100
実践知科目	地域関連科目	地域課題演習科目	地域課題演習A	振替なし （R8から開講）	ビジネスの手法を活用して、世界を変えていく方法について考察し、実践する機会を通じて学びを深めていく。	2			←　○　→		2前又は後	集中	選択必修	アクション	100
実践知科目	地域関連科目	地域課題演習科目	地域課題演習B	振替なし （R8から開講）	今の社会を支えている仕組みや組織について、体系的に学んでいく。実際の運営事例等を通じて、改善案や未来のビジョンを策定する重要性なども併せて学んでいく。	2			←　○　→		2前又は後	集中	選択必修	アクション	100
実践知科目	地域関連科目	地域課題演習科目	地域課題演習C	振替なし （R8から開講）	ソーシャル・イノベーションのトレンドや具体的な事例等を通じて、未来社会のあるべき姿を構想する能力を学んでいく。	2			←　○　→		2前又は後	集中	選択必修	アクション	100
実践知科目	地域関連科目	地域課題演習科目	地域課題演習D	振替なし （R8から開講）	探求心とリサーチ能力を活用し、未知なる世界を知的に分析していく能力育を学んでいく。自ら探求テーマを設定し、様々な情報を組み合わせ、多様な視点から分析/研究を深めていく継続力を養う。また、探求を通じて得た学びや発見を、効果的に発信する技能も併せて開発していく。	2			←　○　→		2前又は後	集中	選択必修	アクション	100
実践知科目	地域関連科目	地域課題演習科目	インターカレッジ・フィールド実践演習	地域クリエイト課題演習	岩手県三陸沿岸地域に向向き、合徳形式でのフィールドワークおよび実践的なサーベillance等にて他大学学生とともに取り組むことで、地域社会の現状と課題、将来的な可能性について学ぶ。	2			○		2前	集中	選択必修	アクション	100
実践知科目	地域関連科目	地域課題演習科目	キャリアデザイン実践演習	キャリアデザイン実践演習 （社会科目）	Society5.0に向かって大きく変化しつつある社会において主体的に生きていくためには、働くことや学ぶことについて深く考えることができ、将来に向けてすべきことを見つけ、それを実践することができる能力が不可欠である。本科目では、その能力をインターンシップなどの実践とグループワークによる課題解決等の主体的学習を通じて身につける。	2				○	2前	集中	選択必修	キャリア	100
実践知科目	地域関連科目	地域課題演習科目	地域防災課題演習	地域防災課題演習	「地域の防災力を高める」課題の解決に向けて、「防災教育」を中心に活動を進める。具体的には、「防災教育」のための教材の開発を行い、それらを用いて、地域の老若男女を対象に実践し、実践後、参加者からのフィードバックに基づき、さらに教材を改良していく、という活動を行う。これらの成果をまとめ、次の学生に引き継ぐための資料等を作成し、次年度に引き継いでいく。	2	←	○	→		1～2前又は後	通常集中	選択	アクション	100
実践知科目	地域関連科目	地域課題演習科目	地域グローバル課題演習	地域グローバル課題演習	岩手の様々な地域資源を活用し、海外からの招聘学生、留学生と日本人学生とが岩手の持つ利点、課題等について知識を高め、共に考えることを通じ、地域をグローバルな視野で客観的に見る力を高める。それとともに多様な背景の人々との協働力を高める。	2	←	○	→		1～2前又は後	通常集中	選択	アクション	100
実践知科目	地域関連科目	地域課題演習科目	地域クリエイト課題演習	地域クリエイト課題演習	課題解決の手法として、PBLの推進に必要なイノベティブに考えるシステム思考・デザイン思考の概念と考具（ブレインストーミング、親和図法など）について、講義形式で学ぶ。 また、フィールドワークにより現地の視察等を行い、自分目線で課題を見つめ直し、グループごとに認識・整理して理解を深め、課題解決方法を策定する力を養う。	2	←	○	→		1～2前又は後	通常集中	選択	アクション	100
実践知科目	地域関連科目	地域課題演習科目	海外研修-世界から地域を考える-	海外研修-世界から地域を考える- （地域科目）	グローバル化が進む現在、「地域」は国際社会を構成する1つの要素であり、国際的な問題は地域の問題に影響を及ぼしている。この講義では、海外の協定大学や関連機関等に実際に赴いて海外の先進事例と地域の事例を比較することで、地域の課題解決の方策を探る。	2			←　○　→		2前又は後	集中	選択	アクション	100